

避難所開設・運営 アクションカード 【施設管理班】



アクションカードとは・・・

だれでも、災害時に適切な行動がとれるようにするための市川市「避難所マニュアル」に基づく行動指示書です

避難所を迅速に開設し、避難者を受け入れることを目的とします

市内に震度5弱以上の地震が発生し、担当の小学校に参集した後の行動を示すものです

「避難所マニュアル」と「各学校の施設利用計画図」を併せて利用してください

Ver.1
令和7年10月
市川市地域防災課

◆流れはあくまで例であり状況により順序を変えるなど対応する

主な役割:避難者受け入れに必要な 資機材の設置

施設管理班の流れ			目安時間	訓練メニュー
各班共通	STEP 1	安全確認	安全確認されるまで	
	STEP 2	資機材の搬送	15分	必須
	STEP 3	居住スペースの設置	15分	必須
	STEP 4	危険箇所への措置	5分	
	STEP 5	水洗トイレの使用禁止	5分	
保健班と協力	STEP 6	携帯トイレの設置	10分	★
	STEP 7	避難所看板の設置	5分	★
	STEP 8	簡易トイレの設置	10分	★
	STEP 9	バルーンライトの設置	10分	★
	STEP 10	ポータブル蓄電池の充電	5分	★
	STEP 11	エアコンの管理	随時	
	STEP 12	駐車場の管理	随時	
	STEP 13	防火・防犯の取り組み	随時	

開設まで目標
45分

★…訓練メニュー

STEP1 安全確認

目標：安全の確認が取れるまで安全な場所（校庭など）で避難者を待機させる

1



初動の人

最初に来た人は、この班の
当面のリーダーです
(役職は関係ありません)

2



建物の安全確認が済むまでは
避難者には中に入れないこと
を伝え、屋外の安全な場所
(校庭等)で待機させる

※建物の安全確認は拠点要員（市職員）が実施

3

ア. 建物周辺の確認

- ☐ 火災が発生している ☐ 建物が浸水している
- ☐ 建物全体が沈下している ☐ ガス臭い
- ➡ 拠点要員（市職員）へ伝え、災害対策本部に報告

4

イ. 余震が発生した場合は、その都度安全確認を実施する

STEP2 資機材の搬送

目標：開設に必要な資機材を体育館に搬送する

【使用物品】

- ☐ リヤカー
- ☐ 避難所開設セット
- ☐ ロールマット
- ☐ プライベートテント



【実施手順】

1

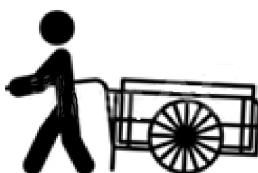


防災倉庫

防災倉庫を開錠し
避難所開設に必要な資機材を取り出す

鍵はダイヤルキーボックスの中にあり
拠点要員(市職員)が取り出す

2



全員で協力して資機材を体育館へ運ぶ

STEP3

居住スペースの設置

目標：居住スペース(体育館)に
避難所マット・プライベートテントを設置する

※他の班の人にも手伝ってもらい迅速に設置する

【使用物品】

- ☐ 避難所マット
- ☐ プライベートテント(屋根なし)
- ☐ 養生テープ



1



レイアウト図を確認しロール
マットを敷く

※はじめは必要な分だけ敷く。

※マットの端は、つまづき防止のため養生テープなどで段差
をなくすことが望ましい。

2



プライベートテントを設営する

※要配慮者を優先に利用してもらう

※組み立て方法は末ページの資料参照

STEP4

危険箇所への措置

目標：危険箇所・要修繕箇所への対応をする

【使用物品】

□立入禁止テープ



1



危険箇所などへの立ち入り禁止措置をする

※危険な箇所について、立ち入りを禁止します。
張り紙や進入禁止ロープを張るなどの措置を取ります。

＜避難者の受け入れや立ち入りを制限する場所の例＞

指定区分	場所の例	理由
立入禁止	安全点検で「危険」や「要注意」と判断した場所	余震などによる二次災害の防止

避難所
マニュアル
P22

STEP5

水洗トイレの使用禁止

目標：水洗トイレを使用禁止とする

【使用物品】

- 立入禁止テープ
- 張り紙



1



トイレ
使用禁止

校舎など体育館以外のトイレ
は原則使用禁止にする

2



水を流さないよう周知の張り
紙をする

○水洗トイレは、上下水道の破損がないことを確認できたうえで、施設管理者と協議し了承が得られて初めて使用できます。使用可能を確認されるまでは、水洗トイレの使用を禁止し、災害用トイレを使用する。

STEP6-1 携帯トイレの設置

目標：災害用トイレに携帯トイレセットを準備する

【使用物品】

- 携帯トイレセット
- ゴミ袋
- 消毒アルコール



凝固剤・ポリ袋セット

1



体育館の個室トイレにポリ袋を
セットし携帯トイレセットを配
置する

2



消毒用アルコール、携帯トイレ
の使い方の張り紙、汚物入れ
を配置する

災害時に役立つ自宅での携帯トイレの使い方



STEP6-2 携帯トイレの設置

目標：災害用トイレに携帯トイレセットを準備する

2



トイレの使用ルールの周知・掲示を行う

※トイレの男女別をわかりやすくする表示を実施する

3



汚物の処理・清掃は避難者で
当番制で実施する

避難所の衛生

トイレ
手指消毒
土足禁止

1.



トイレの清潔
(清掃・消毒の実施)

2.



手指消毒
(トイレ後・調理前・
食事前・外出後ほか)

3.



土足禁止
(室内履きをはく)

※トイレ用の履物を用意する

避難所
マニュアル
P22

STEP7

避難所看板の設置

目標：避難所であることを示すための避難看板を設置する

1



ひなんじょ
避難所

見えやすい位置に懸垂幕を設置する

● 避難所懸垂幕



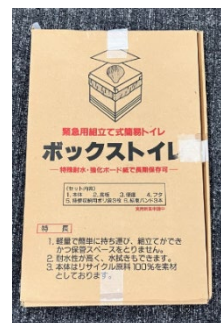
STEP8

簡易トイレの設置

目標: トイレの便器が不足する場合は
段ボールトイレを設置する

【使用物品】

- ボックストイレ
- パーソナルテント



1



「段ボールトイレ」を組み立てる

2



用具庫などの個室にパーソナルテントを設置する

【トイレの衛生環境の維持】

※使用ルールの掲示物、清掃・維持管理の方法、清掃用品等トイレを清潔に保つために必要な物資等を話し合い決めていくことが重要です

STEP9 バルーンライトの設置

目標：停電している場合は
バルーンライトを設置する

【使用物品】

- バルーンライト（3箱）
- ポータブル蓄電池
- ソーラーパネル

※「電灯本体」「バルーン」「三脚」の
3つの段ボールがあるので注意



ポータブル蓄電池の保管場所は、ここです

場所：

1



バルーンライトを組み立てる

2



ポータブル蓄電池と接続し点
灯させる

STEP10

ポータブル蓄電池の充電

目標：ポータブル蓄電池に蓄電する

1



日中はポータブル蓄電池と
ソーラーパネルを接続し充電
する



※屋外に
ソーラーパネルを設置
する

※スマートフォンなどの充電は、避難者が順番に使用できるようにするなどのルールを決めて利用する。

STEP11

エアコンの管理

目標:夏場などはエアコンを使用する

※小学校の体育館のエアコン設置の導入を進めています。

1



体育館のエアコンを使用する

※夏場などはエアコンを使用する

※停電時でも使用可能です

※操作方法是、学校によって異なるので「避難所マニュアル」を参照してください

体育館の空調



避難所
マニュアル
P23

STEP12

駐車場の管理

目標：駐車許可証を発行して管理する

※身体障がい者などを除いて原則避難者の駐車は禁止します。

1



駐車許可証を発行してフロント等に掲示させる

※校庭など駐車場所を確保し駐車させる。

資料8 「避難所駐車許可証」

避難所駐車許可証

駐車許可区域



※駐車許可区域に記入された場所のみ、避難所内に車両で進入できます。

※駐車の際は、フロントガラス内側の見え易い場所に掲出してください。

避難所
マニュアル
P23

STEP13-1

防火・防犯の取り組み

目標：防火・防犯に努める

※集団生活においては火災の危険も増大するため火気の取り扱いに注意する

1



喫煙所

喫煙所の設定

※喫煙をする場合は、喫煙所のみで行うことを徹底する。

2



消火器

「消火器」や「消火バケツ」を配置する

●居住スペースで
ストーブ、カセットコンロ、蚊取り線香などを使用
する場合は、「消火バケツ」などを用意する。

●火災予防のため、火気を使用している場所を
定期的に巡回する。

避難所
マニュアル
P23

STEP13-2 防火・防犯の取り組み

目標：防火・防犯に努める

3



女性用の洗濯干し場/更衣室
/休養スペースの確保

※防犯の観点から専用スペースの確保が望ましい

4



定期的に避難所内の巡回警備
や注意喚起ポスターを掲示

※必ず2人以上で実施する

●トイレは昼夜問わず
安心して使用できる
場所を選び、照明を
つけるとともに、女性
用トイレと男性用トイレは離れた場所に設置することが望ましい



防火・防犯活動

避難所
マニュアル
P23

各班
共通

【資料】

避難所受付基本レイアウト例



【基本レイアウトについて】

- ・壁から2m程度間隔を空けて、マットを2列ずつ敷く。
- ・養生テープでマットを2mごとに区画し、1区画当たり2m×2mの避難スペースを確保する。
- ・2m程度の通路を設ける。
- ・プライベートテントは間隔を空けて設置

	：避難所マット (0.9m×20m)
	：屋根なしテント (2.1m×2.1m)
	：屋根付きテント (2.1m×2.1m)

※あらかじめ協議会でレイアウトを決めている場合はそちらに従ってください。

【資料】 プライベートテント

プライベートテントの組み立て手順



収納袋の外観



テント等を取り出す



テントの端を持ち上げる



テントがパッと広がる



上下を確認し、テントを立ち上げ



広げる



形を整える



中に付属のシートを敷く



表札とマーカールを入れる



完成